

# 伝える！ 国連の仕事

## ガザの子を思いやり、心寄せ続けて

中東のパレスチナ自治区ガザ地区で、去年秋から戦いが続いています。こうしたとき平和をとりもどそうと活動するのが「国連連合」(国連)です。国連の動きを日本で伝えている国連広報センターの所長、根本かおるさんはみなさんと同じ子どもたちが「戦闘の犠牲となっている」といいます。ガザの子どもたちの「現実」をぜひ知ってほしい、と願っています。



東日本大震災の被災地の復興を願って空をあげるガザ地区の子どもたち  
—2023年3月ガザ地区ハンユニス UNRWA提供



### イスラエルとパレスチナ

1948年、イスラエルがパレスチナの地で建国されると、もともと住んでいたアラブ人(パレスチナ人)は故郷を追われました。反発するアラブ諸国とイスラエルの間で何度も戦争が起きました。今回の争いの始まりは去年10月、パレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスがイスラエルをおそったことでした。対して、イスラエルも報復し、激しい戦闘が続いています。



イスラエル軍による攻撃で破壊され、燃える建物で、救助活動をする人々。2月、パレスチナ自治区ガザ地区ラファ ©朝日新聞

### 多くの子どもたちが戦闘の犠牲に

去年10月、ガザ地区を支配するハマスの勢力がガザ地区の境界をこえてイスラエル側を突如攻撃しました。以来、戦闘はどんどん激しくなりました。すでに6か月以上がたつていま

### 最低限のルールすら破られて…

4月末現在、取まる見通しは立っていません。被害も増えていくばかりです。大人たちの戦闘に多くの子どもたちが巻きこまれ、犠牲になっている重い現実があります。

パレスチナ難民のため活動する「国連パレスチナ難民救済事業機関」(UNRWA)や、ユニセフをはじめとする国連の機関は、ガザの人々に食料、水、医薬品などを届けようと命がけで活動しています。物資を運ぶ道には、地雷や不発弾があることもあるからです。ガザの人々の支援のため、ハマスの対立するイスラエルの許可が必要な場合もあります。支援団体の車や配給所が攻撃でねらわれることも、悲しい現実です。UNRWAだけでも少なくとも180人も職員が今回の戦闘で亡くなっています。



ねもとかおる 兵庫県出身。東京大学法学部卒。アメリカ・コロンビア大学大学院修了。テレビ朝日のアナウンサー。1999年から2011年まで国連難民高等弁務官事務所長としても働いた。フリージャーナリストの活動を経て、19年8月から現職。

ガザ地区では、空襲で破壊された人々が支援物資を積んだトラックから食料をうばっていき、事態も起きています。人々の日常はこれです。戦争には「国際人道法」という国際的な決まりがあります。一般市民を標的にしてはならず、病院など人道支援にたずさわる人々を守らなければならない。戦争を行う際の最低限のルールです。歴史の反省をふまえ、国際社会